



シーケンス・OMRジェネレータ機能説明書



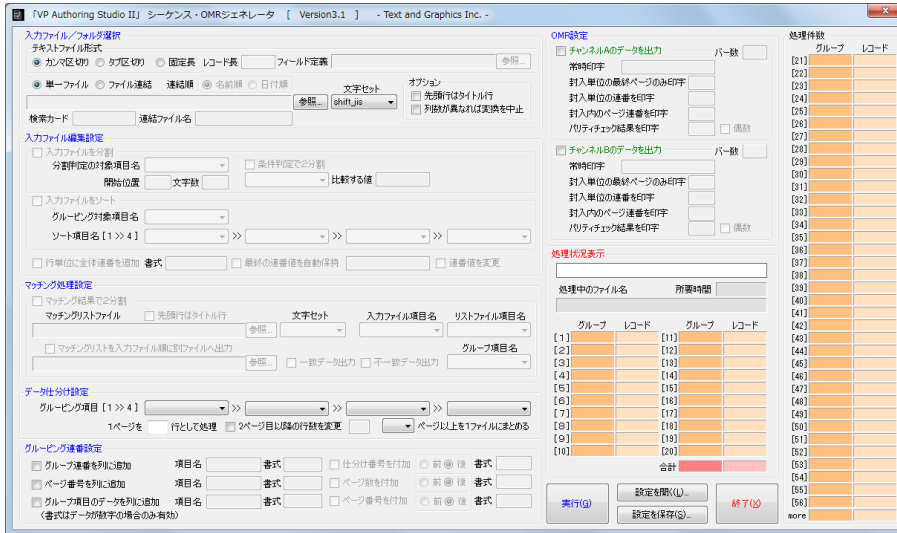
テキスト・アンド・グラフィクス 株式会社

< 目次 >

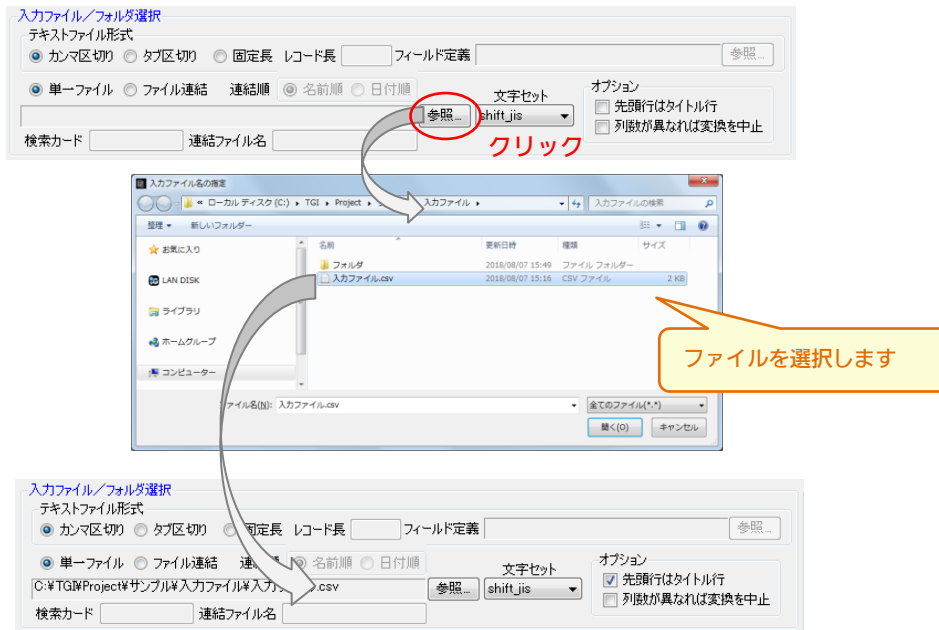
1. ファイル／フォルダ選択	1
2. 入力ファイル編集設定	2
2-1. 入力ファイルを分割	
2-2. 入力ファイルのソート	
2-3. 全体連番の追加	
3. マッチング処理設定	7
4. データ仕分け設定	8
5. グループング連番設定	10
6. OMR設定	12
7. 変換の実行	15
8. 設定内容を保存・開く	16

1. ファイル/フォルダ選択

「シーケンス・OMRジェネレータ」(以下ジェネレータ)では、入力ファイルのソート、グループ単位での連番の付加、OMR情報を付加するなどのファイル変換が可能です。「VP Authoring Studio II」をインストールした環境にある「TgiSeqOmrGenerator.exe」を起動します。

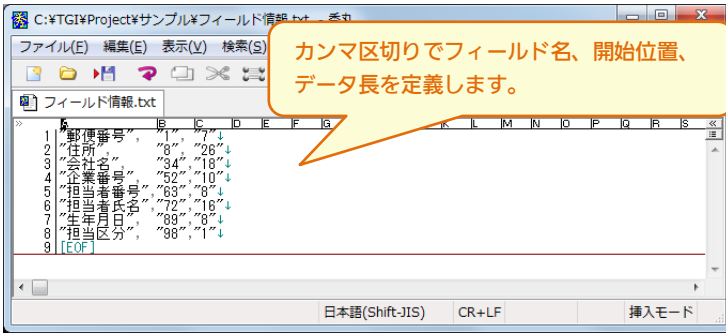


変換するテキストファイルの形式とファイルの種別(単一ファイル/フォルダ指定)と文字セットを指定します。文字セットはファイルを選択する前に指定してください。



カンマ区切り/タブ区切りのファイルで1行目がタイトル行の場合、「先頭行はタイトル行」をチェックしてください。入力ファイルの列数が異なる行があれば変換中止したい場合、「列数が異なれば変換中止」をチェックしてください。

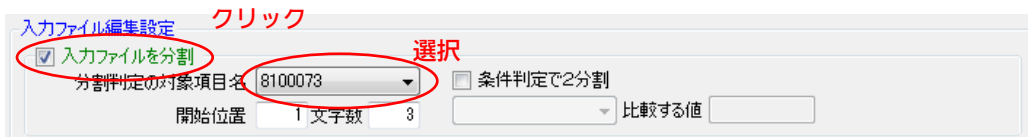
入力ファイルが固定長の場合、フィールド定義情報が必要となります。
 定義ファイルは文字コード Shift-JIS でフィールド名、開始位置、データ長をカンマ区切りで定義してください。
 以下、見本の設定となります。



2. 入力ファイル編集設定

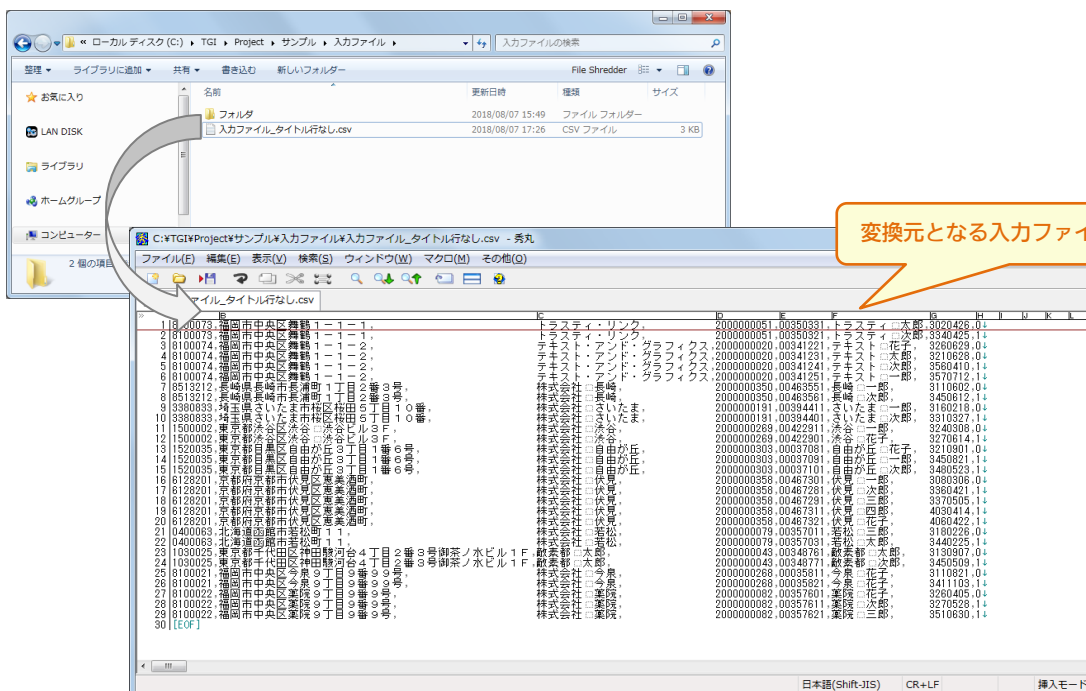
2-1. 入力ファイルを分割

入力ファイルを条件で分割することができます。

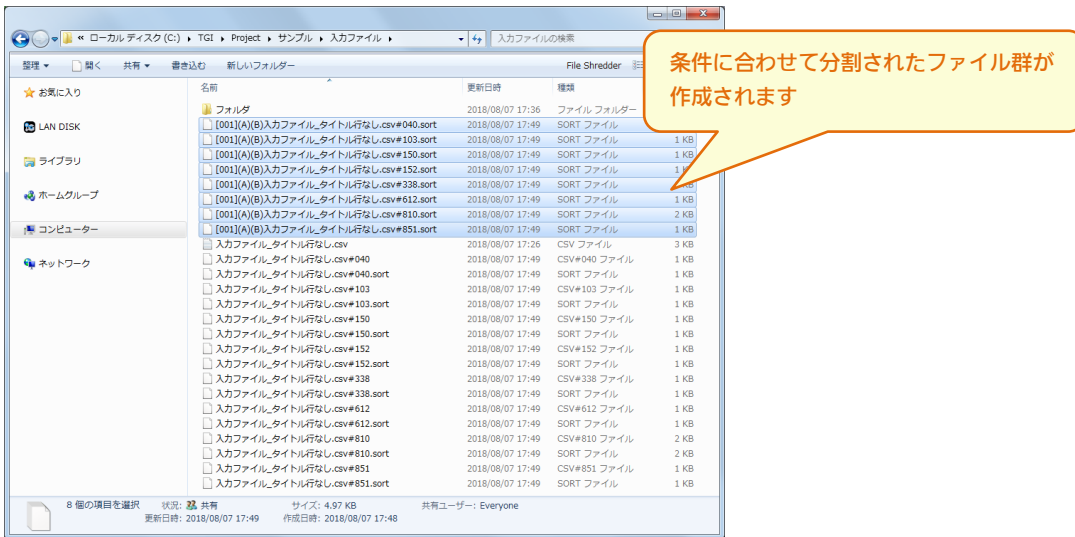


「先頭行はタイトル行」のファイルを分割した場合、1ファイルにのみタイトル行は付加されます。それ以外のファイルにはタイトル行は付加されません。「条件判定で2分割」でも同様となります。

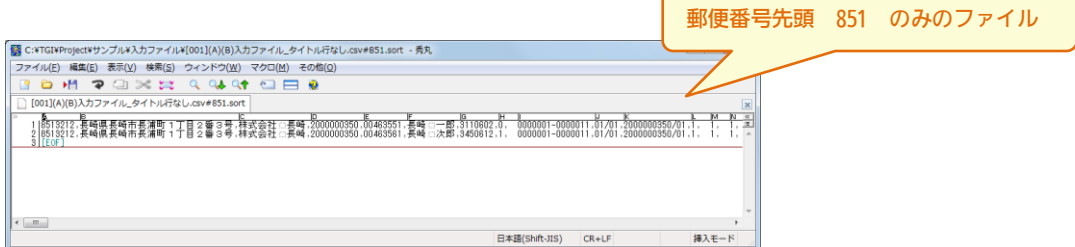
●入力ファイル



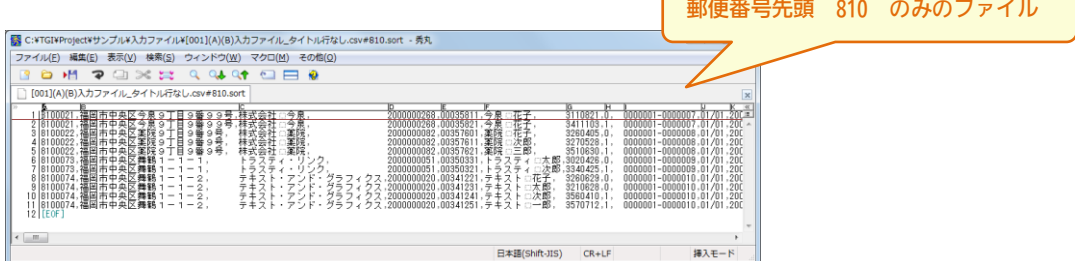
●条件分割されたファイル



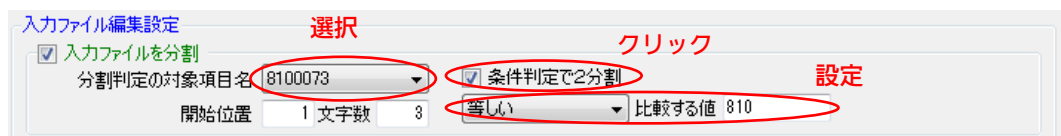
●[001] (A) (B)入カファイル_タイトル行なし.csv#851.sort



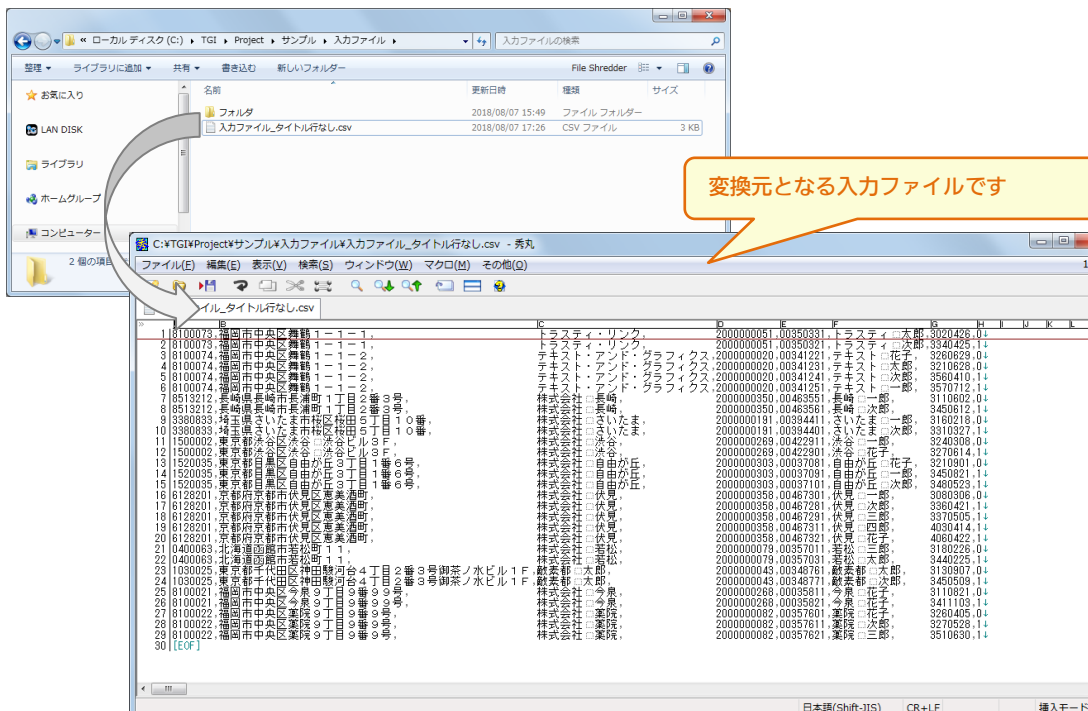
●[001] (A) (B)入カファイル_タイトル行なし.csv#810.sort



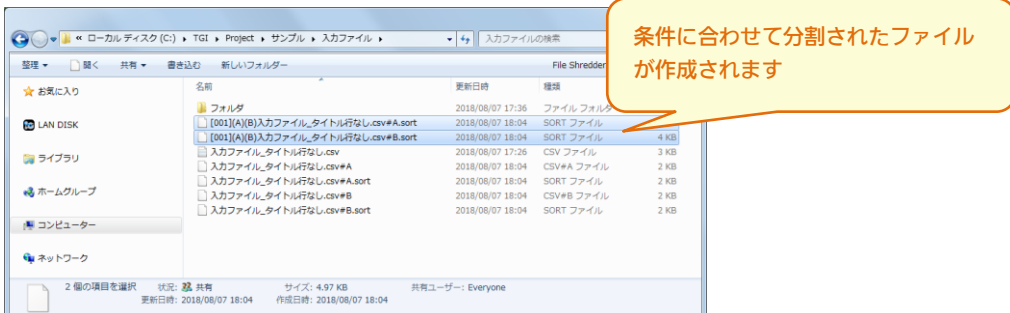
「条件判定で2分割」にチェックすると条件に一致するファイル (A) と条件に一致しないファイル (B) が作成されます。比較する値は”|”文字で複数比較する値を指定することができます。入カファイルが1人分のデータがnレコードの場合、グルーピング項目を指定してください。



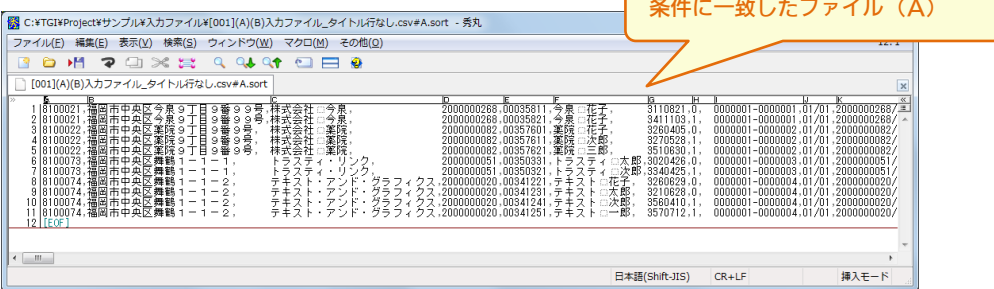
●入力ファイル



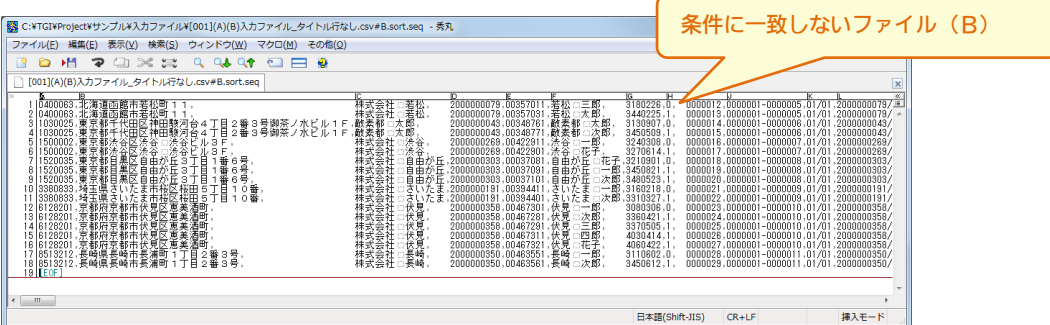
●条件分割されたファイル



●条件に一致するファイル (A)



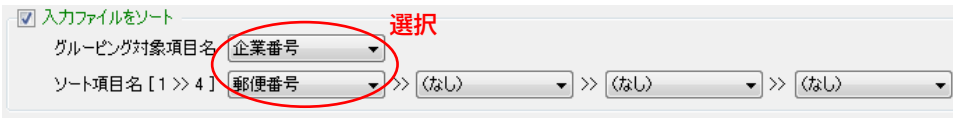
●条件に一致しないファイル (B)



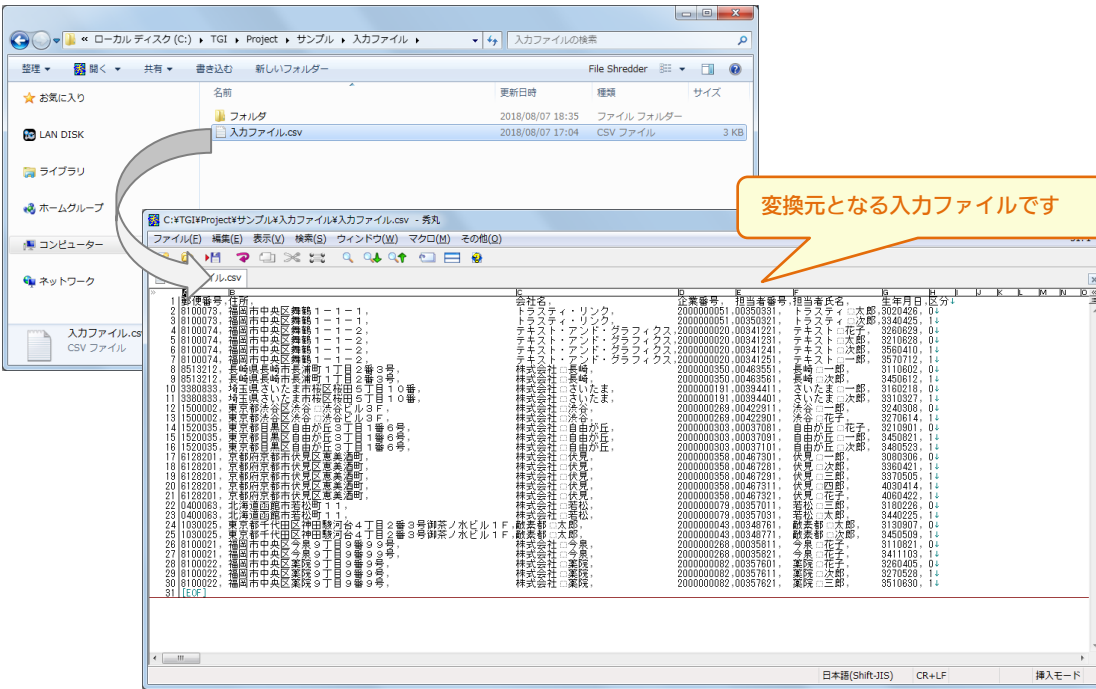
2-2. 入力ファイルのソート

入力ファイルを指定項目でソートすることができます。

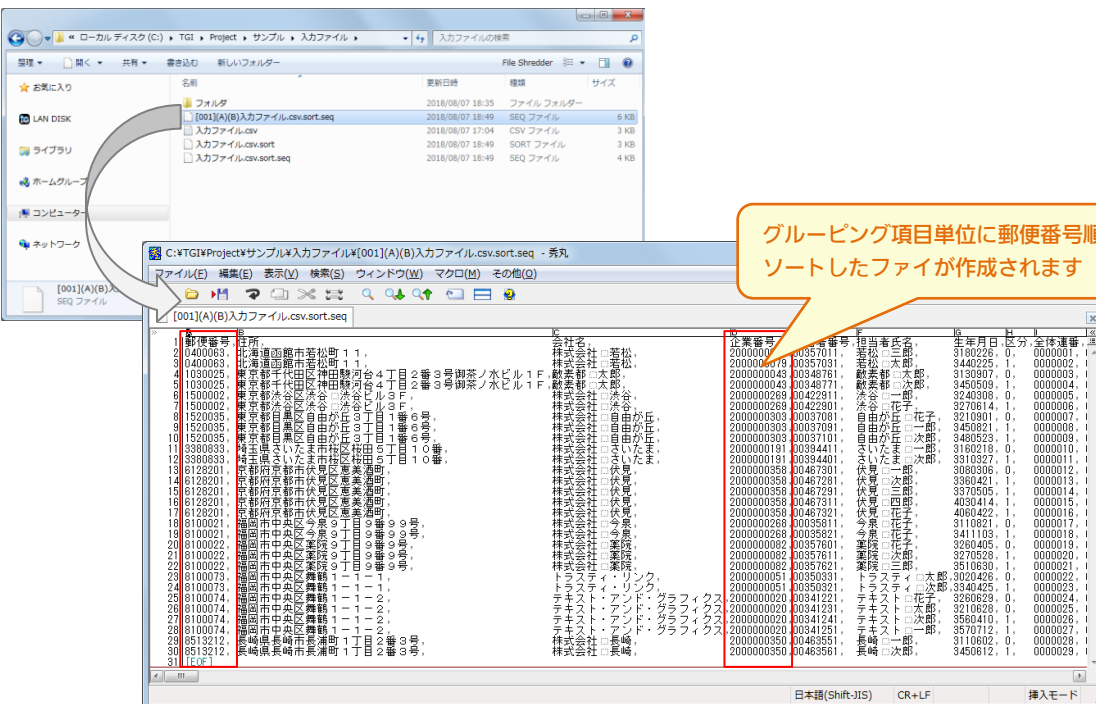
1人分に対してn行のデータがある場合、グルーピング項目をすることでグループ単位でのソートが可能です。



●入力ファイル



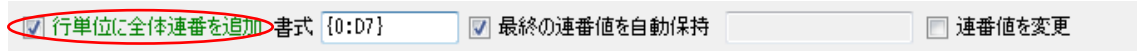
●変換ファイル



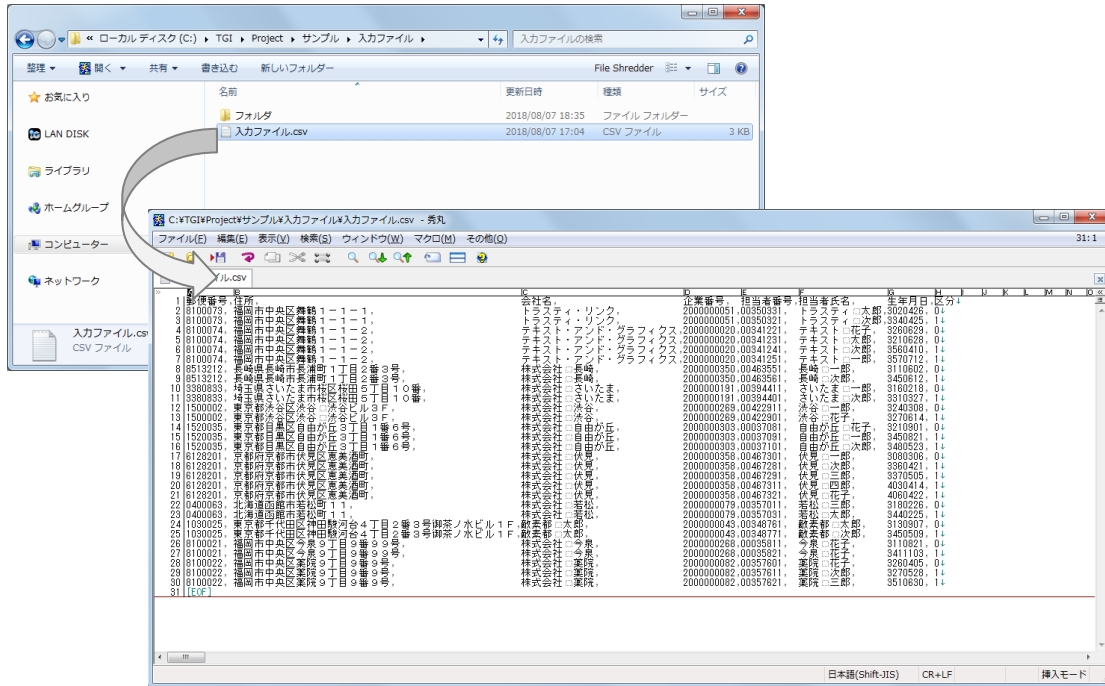
2-3. 全体連番の追加

行単位の全体連番を付加することができます。「最終の連番値を自動保持」をチェックするとファイル変換実行後に最終の連番値に続く番号が反映されます。もし変更したい場合は「連番値を変更」で変更可能です。

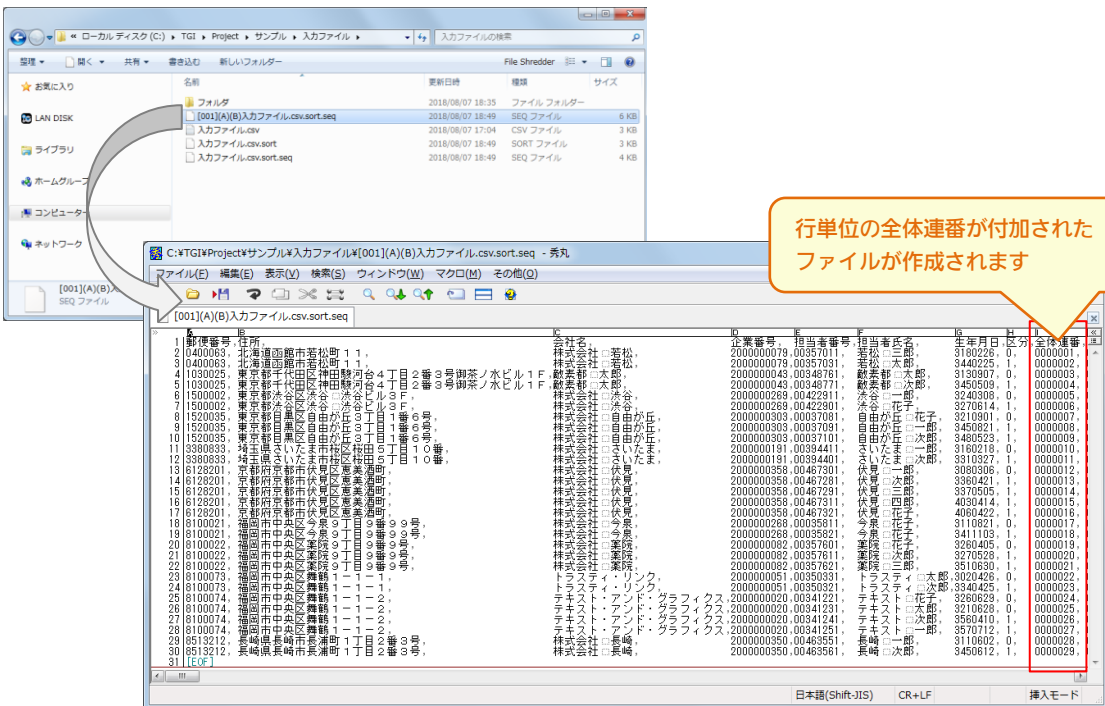
クリック



●入力ファイル



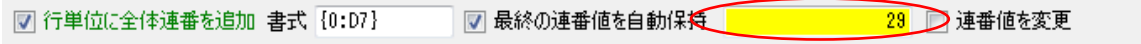
●変換ファイル



●「最終連番値を自動保持」設定時の変換について

「最終連番値を自動保持」を設定すると変換実行後にテキストボックスが黄色になり連番値が反映されます。別のファイルを選択し変換を実行した場合、保持した値からの連番となります。

変換後の最終連番値が反映されます



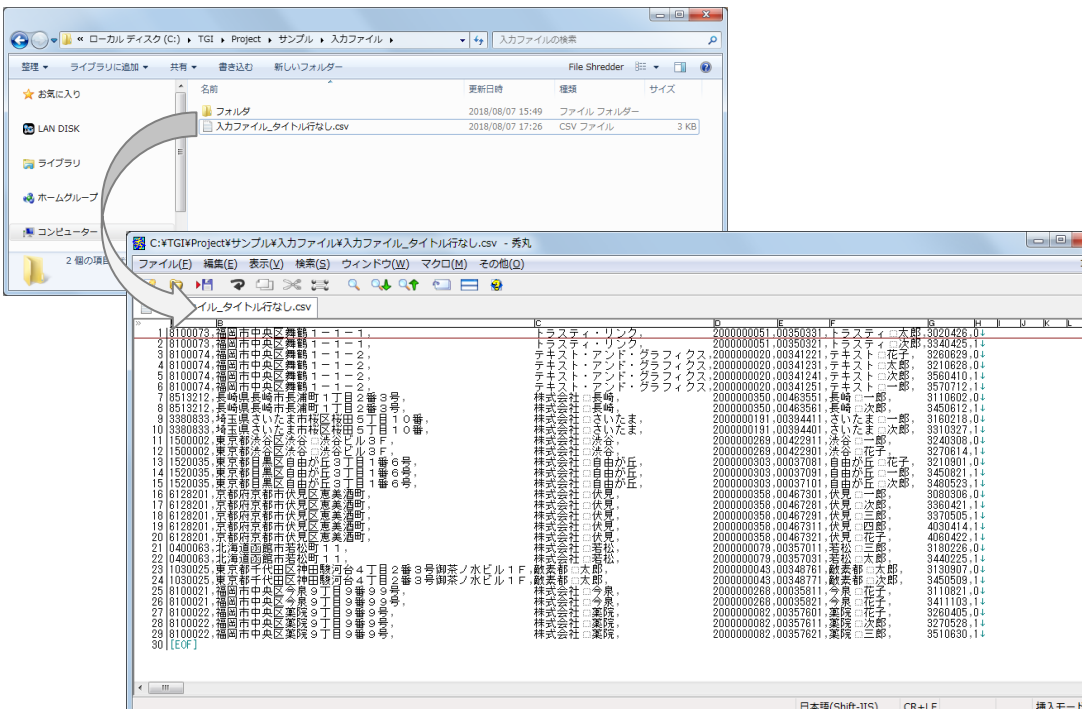
3. マッチング処理設定

マッチング設定処理は特定のデータに一致するものを抽出しファイル変換を行う場合に使用します。

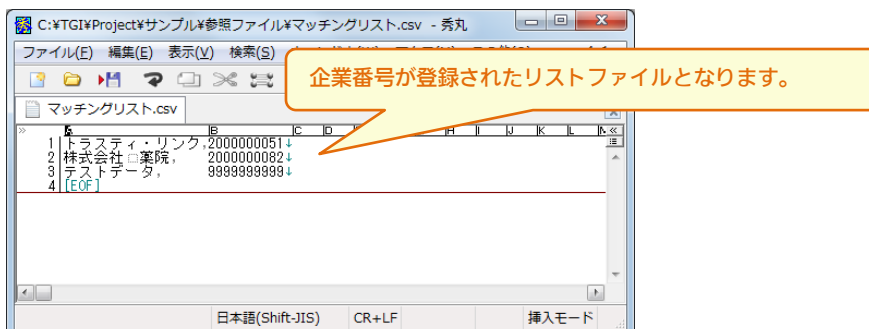
マッチングリストファイルを選択しマッチングする項目として入力ファイルの項目名とリストファイル項目名を選択します。「マッチングリストを入力ファイル順に別ファイルへ出力」をチェックすると条件に「一致データ」、「不一致データ」をファイルへ出力することができます。



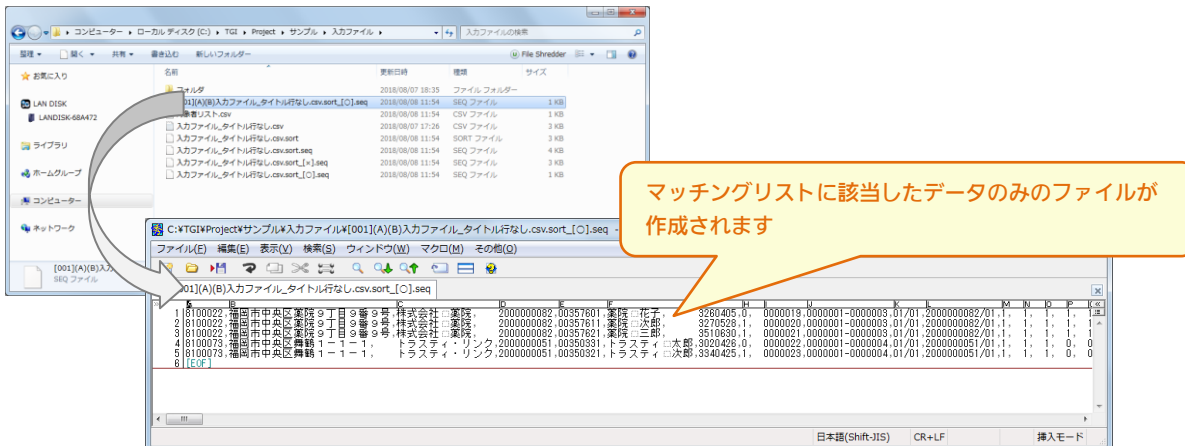
●入力ファイル



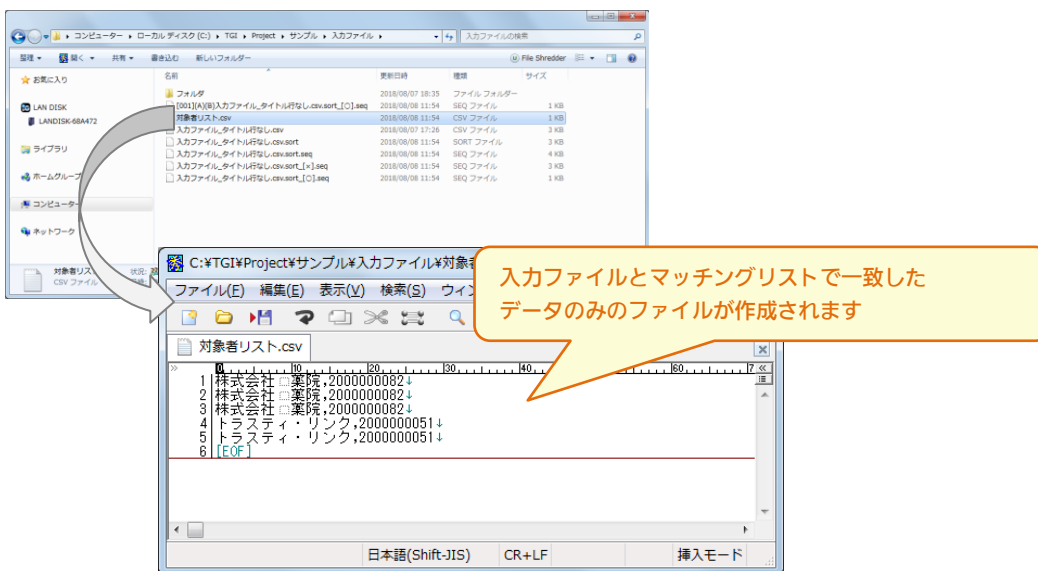
●マッチングリスト



●変換ファイル



●リスト出カファイル



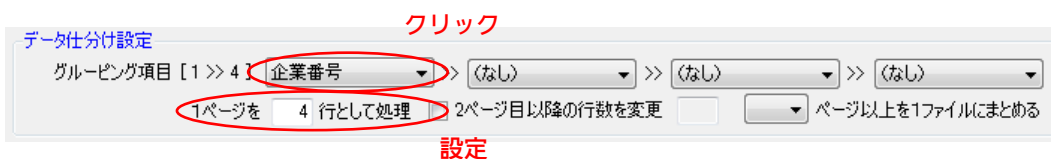
4. データ仕分け設定

データ仕分けを行うグルーピング項目の選択、1ページに表示する行数を指定します。

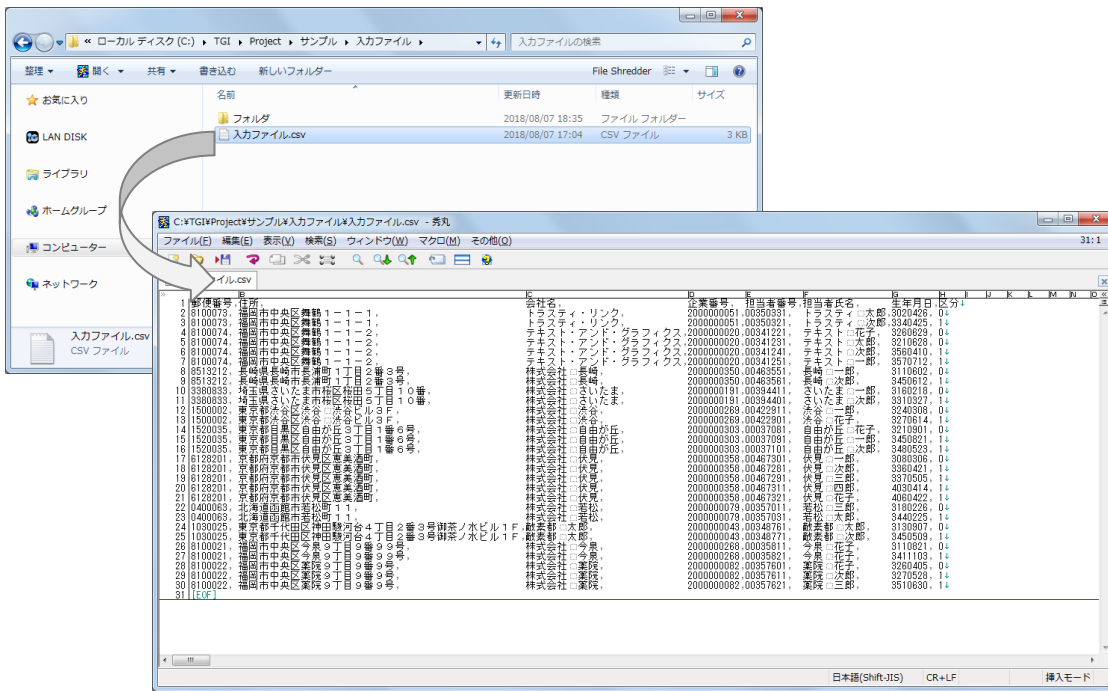
1人分に対して1行の場合は1行と指定してください。

1人分に対してn行のデータがある場合は1ページに表示する行数を指定します。

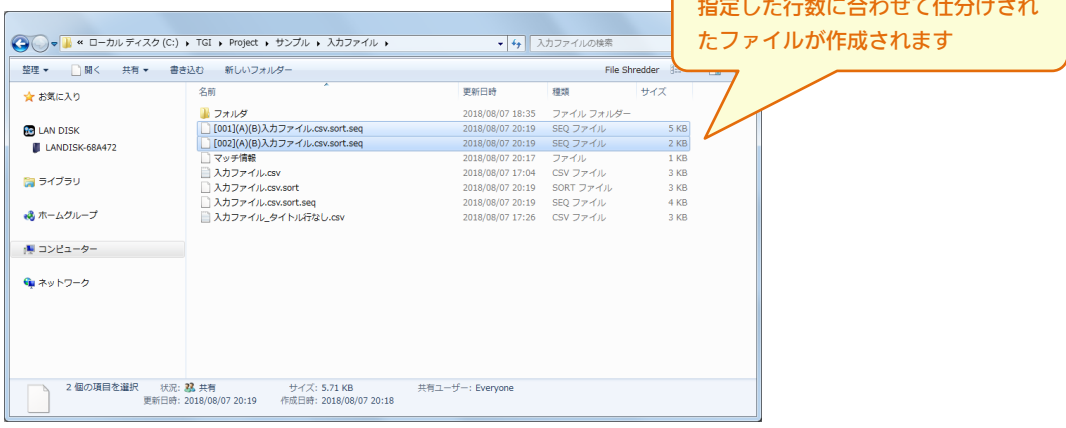
1ページに表示する行を超えるデータの場合、1ページ表示分が出力されるファイルではなく別ファイルとして仕分け出力されます。複数ページに仕分けされるファイルは指定ページで1ファイルにまとめることもできます。



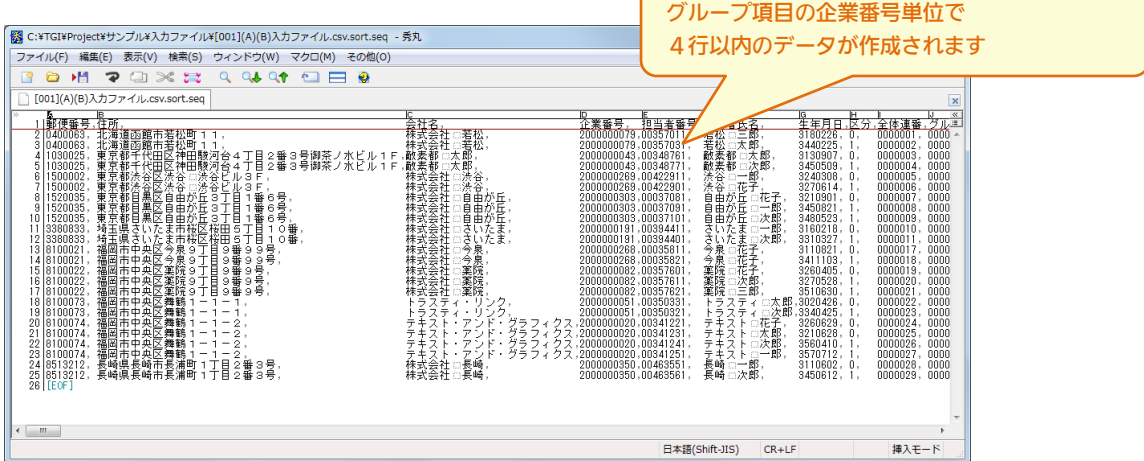
●入力ファイル



●変換ファイル



●[001] (A) (B)入力ファイル.csv.sort.seq



●[002] (A) (B)入力ファイル.csv.sort.seq

グループ項目の企業番号単位で
4行以上のデータが作成されます

グループ番号	住所	会社名	企業番号	担当者番号	担当者氏名	生年月日	区分	全体連番	グループ連番	ページ番号	グループ項目	OMR(A)	OMR(A,B)
1	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
2	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
3	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
4	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
5	東京都中央区	伏見	200000358	00467311	伏見 西三郎	430414	1	000015	000002	000001	01/02	200000358/01	1
6	東京都中央区	伏見	200000358	00467321	伏見 三花子	406042	1	000016	000002	000001	02/02	200000358/02	1
7													

5. グループ連番設定

グループ連番設定ではグループ連番、ページ番号、グループ項目を変換ファイルに付加することができます。「グループ連番を列に追加」でグループ単位の連番を列に追加します。「仕分け番号を付加」で仕分けファイル単位の連番を付加します。「ページ番号を列に追加」でページ番号を列に追加します。「ページ数を付加」でグループ単位の総ページ数を付加します。「グループ項目のデータを列に追加」で4. データ仕分け設定で選択したグループ項目を列に追加します。「ページ番号を付加」でページ番号を付加します。

グループ連番設定

グループ連番を列に追加 項目名 書式 仕分け番号を付加 前 後 書式

ページ番号を列に追加 項目名 書式 ページ数を付加 前 後 書式

グループ項目のデータを列に追加 項目名 書式 ページ番号を付加 前 後 書式

(書式はデータが数字の場合のみ有効)

項目名は入力ファイル/フォルダ選択のオプション
「先頭行はタイトル行」をチェックした場合に設定できます。

●入力ファイル

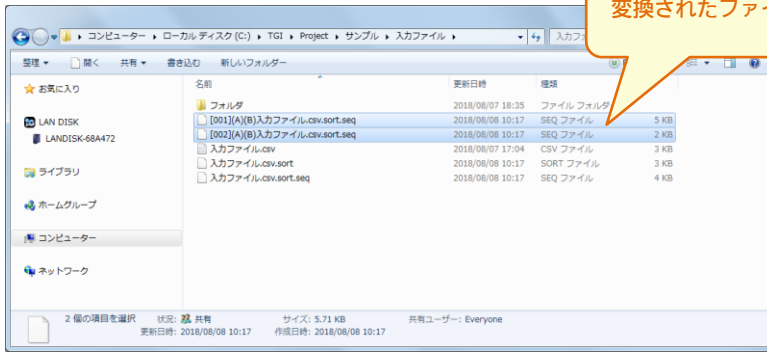
File Explorer: C:\TGI\Project\サンプル\入力ファイル

- 名前: 入力ファイル.csv
- 種類: CSV ファイル
- サイズ: 3 KB

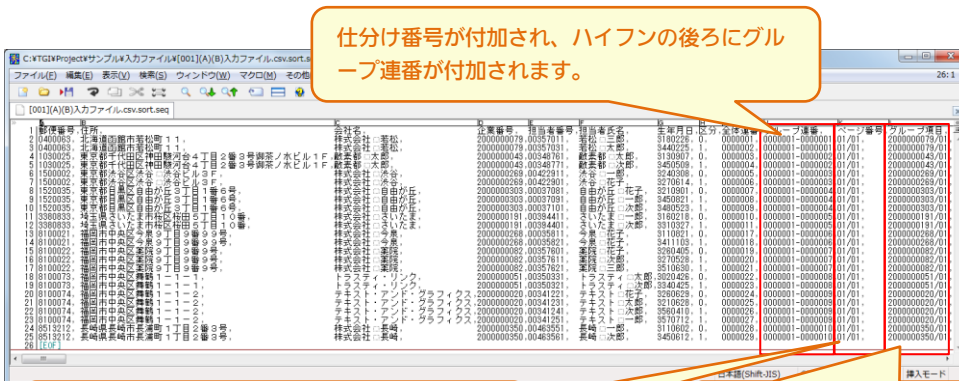
Spreadsheet Application: C:\TGI\Project\サンプル\入力ファイル\入力ファイル.csv - 秀丸

グループ番号	住所	会社名	企業番号	担当者番号	担当者氏名	生年月日	区分	全体連番	グループ連番	ページ番号	グループ項目	OMR(A)	OMR(A,B)
1	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
2	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
3	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
4	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
5	東京都中央区	伏見	200000358	00467311	伏見 西三郎	430414	1	000015	000002	000001	01/02	200000358/01	1
6	東京都中央区	伏見	200000358	00467321	伏見 三花子	406042	1	000016	000002	000001	02/02	200000358/02	1
7													
8	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
9	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
10	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
11	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
12	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
13	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
14	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
15	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
16	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
17	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
18	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
19	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
20	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
21	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
22	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
23	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
24	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
25	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
26	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
27	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
28	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
29	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1
30	東京都中央区	伏見	200000358	00467301	伏見 一郎	390306	0	000012	000002	000001	01/02	200000358/01	1

●変換ファイル



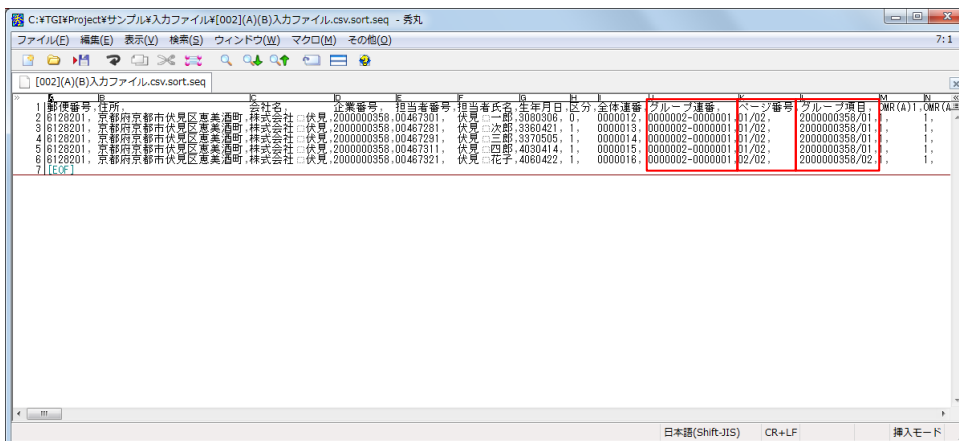
●[001] (A) (B)入カファイル.csv.sort.seq



ページ番号が付加されスラッシュの後ろに総ページ数が付加されます。

グループ項目が付加されスラッシュの後ろにページ番号が付加されます。

●[002] (A) (B)入カファイル.csv.sort.seq



6. OMR設定

OMR設定ではチャンネル数とバー情報を設定することでバー印字に使用するデータを作成することができます。

入力する値はカンマ区切り(“,”)で複数項目の指定ハイフン(“-”)で範囲の指定が可能です。

常時印字：常時印字するバーの位置を指定します。

封入単位の最終ページのみ印字：封入単位の最終ページのみに印字するバーの位置を指定します。

封入単位の連番を印字：封入単位の連番を印字するバーの位置を指定します。

封入内のページ連番を印字：封入内のページ連番を印字するバーの位置を指定します。

パリティチェック結果を印字：パリティチェック結果を印字するバーの位置を指定します。

偶数の場合に印字する場合「偶数」をチェックONにしてください。

OMR設定

チャンネルAのデータを出力 バー数 10

常時印字 1,2,3,8

封入単位の最終ページのみ印字

封入単位の連番を印字 4-8

封入内のページ連番を印字

パリティチェック結果を印字 7 偶数

チャンネルBのデータを出力 バー数 9

常時印字 1

封入単位の最終ページのみ印字 2

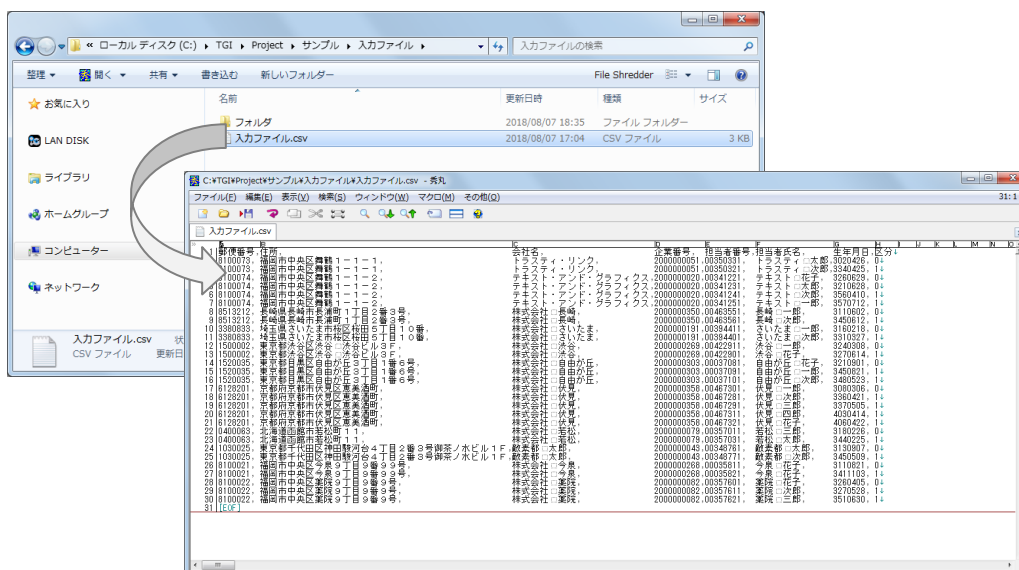
封入単位の連番を印字 3-5

封入内のページ連番を印字 7-9

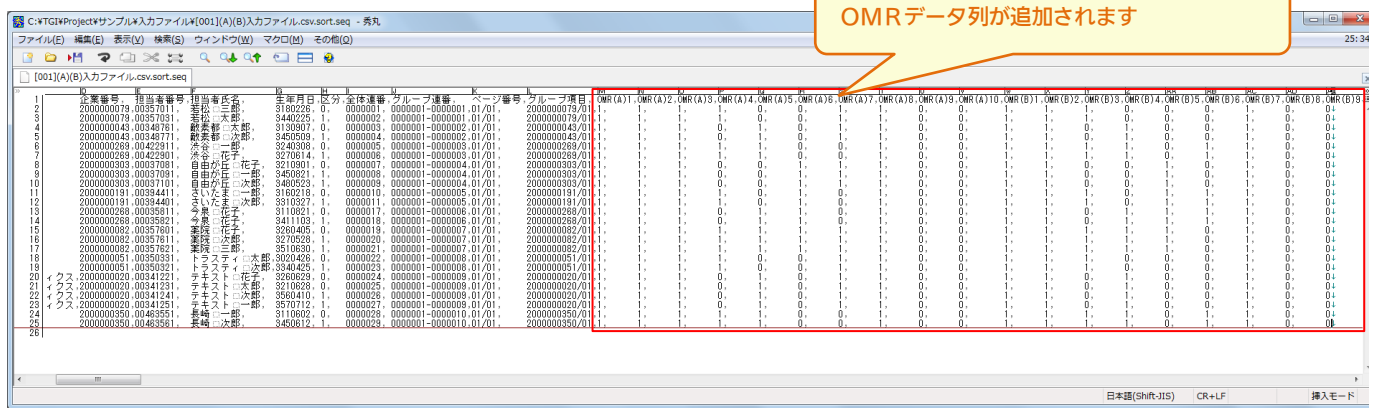
パリティチェック結果を印字 6 偶数

ファイルに出力される値は以下となります。
 印字する=1
 印字しない=0

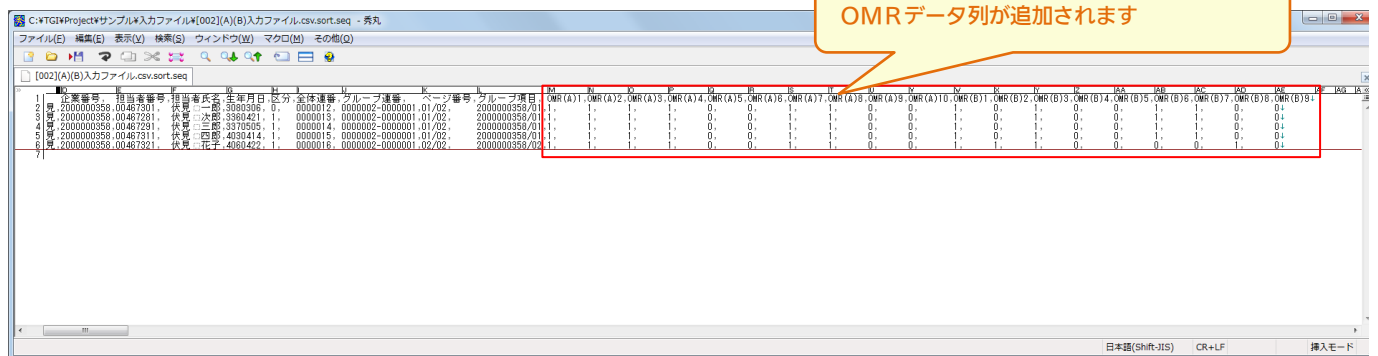
●入力ファイル



- 変換ファイル
- [001] (A) (B)入カファイル.csv.sort.seq



- [002] (A) (B)入カファイル.csv.sort.seq



チャンネルA（バー数10）の出力内容は以下となります。

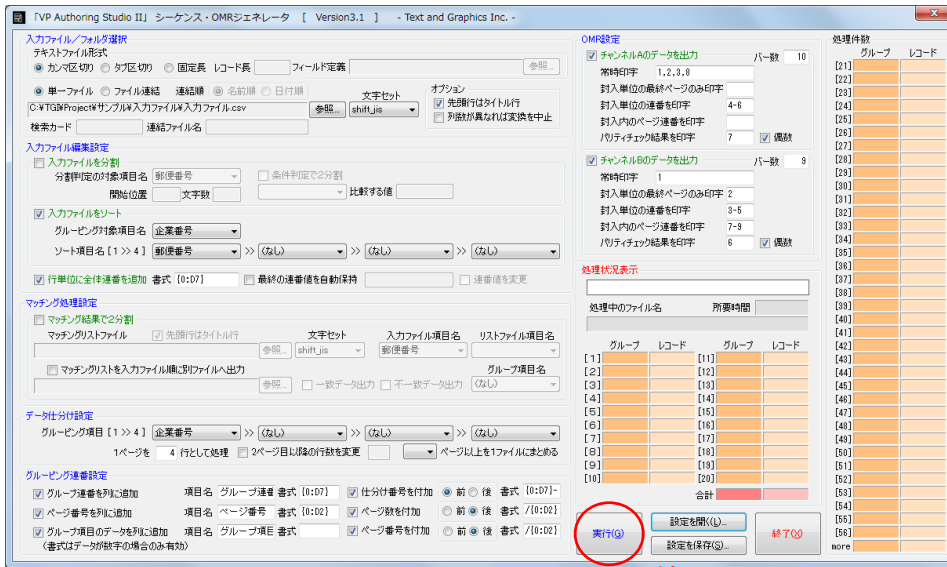
項目	出力内容
OMR (A) 1	常に印字
OMR (A) 2	常に印字
OMR (A) 3	常に印字
OMR (A) 4~ OMR (A) 6	グループ単位の連番を印字。OMR (A)4=1、OMR (A)5=2、OMR (A)6=4と値を表現し最大値7まで表現可能です。最大7まで設定されると値は1に戻ります。 以下は例となります。 1 番目 : 1, 0, 0 2 番目 : 0, 1, 0 3 番目 : 1, 1, 0 4 番目 : 0, 0, 1 5 番目 : 1, 0, 1 6 番目 : 0, 1, 1 7 番目 : 1, 1, 1 8 番目 : 1, 0, 0 (1 番目に戻る)
OMR (A) 7	パリティチェックを除くOMR (A)1~OMR (A)10のバー印字(値=1)の数が奇数の場合に印字
OMR (A) 8	常に印字
OMR (A) 9	常に印字しない
OMR (A) 10	常に印字しない

チャンネルB（バー数9）の出力内容は以下となります。

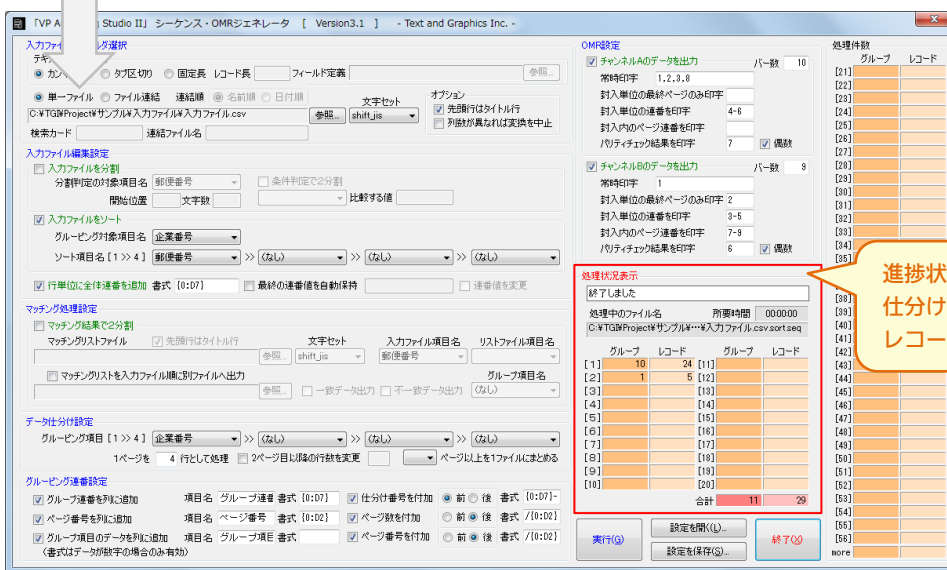
項目	出力内容
OMR(B)1	常に印字
OMR(B)2	グループ単位の最終ページにのみ印字
OMR(B)3～ OMR(B)5	チャンネルA同様、グループ単位の連番を印字
OMR(B)6	パリティチェックを除くOMR(B)1～OMR(B)9のバー印字(値=1)の数が奇数の場合に印字
OMR(B)7～ OMR(B)9	<p>グループ単位のページ数を印字。OMR(B)7=1、OMR(B)8=2、OMR(B)9=4と値を表現し最大値7まで表現可能です。最大7まで設定されると値は1に戻ります。</p> <p>以下は例となります。</p> <p>1番目：1, 0, 0</p> <p>2番目：0, 1, 0</p> <p>3番目：1, 1, 0</p> <p>4番目：0, 0, 1</p> <p>5番目：1, 0, 1</p> <p>6番目：0, 1, 1</p> <p>7番目：1, 1, 1</p> <p>-----</p> <p>8番目：1, 0, 0（1番目に戻る）</p>
OMR(B)8	常に印字しない
OMR(B)9	常に印字しない

7. 変換の実行

データ仕分け設定、OMR設定など変換設定ができましたら[実行ボタン]を押下し仕分け処理を実行します。



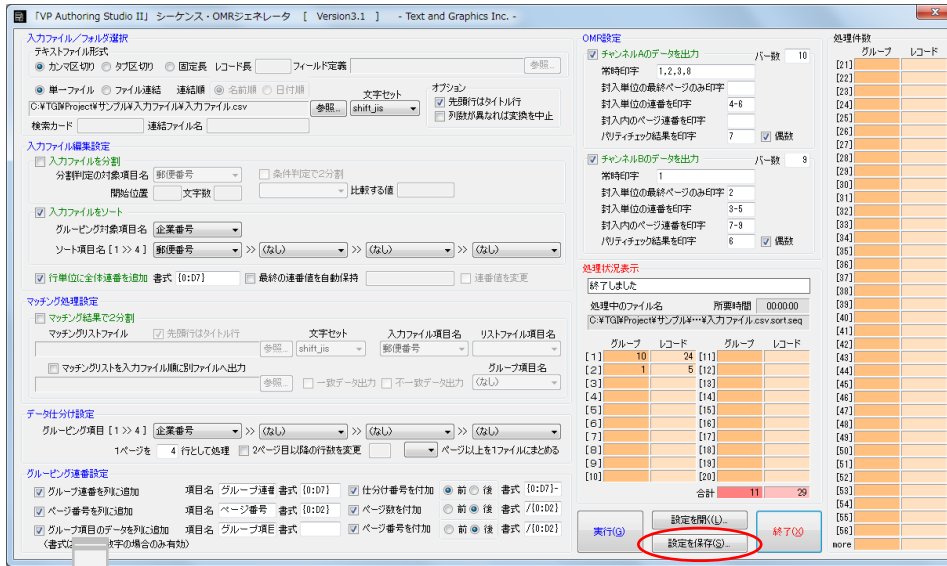
クリック



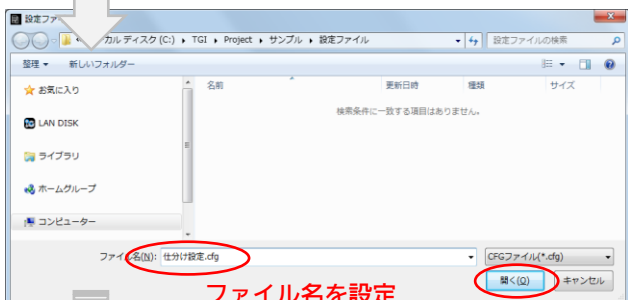
進捗状況、処理中のファイル名と仕分けファイル単位のグループ数、レコード数が表示されます。

8. 設定内容を保存・開く

画面で設定した内容は「設定を保存(S)...」ボタンで保存することができます。

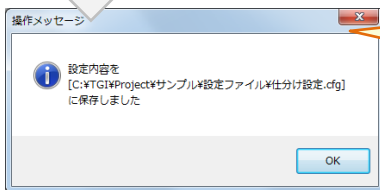


クリック



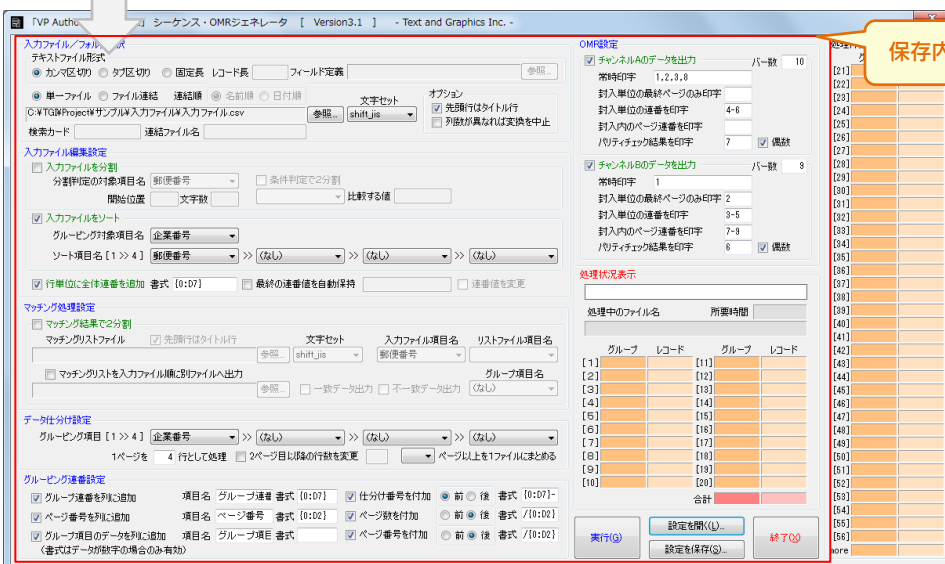
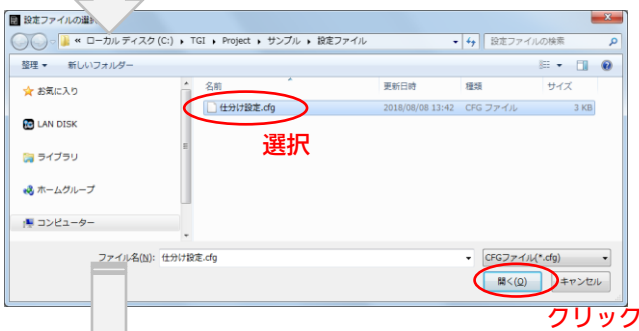
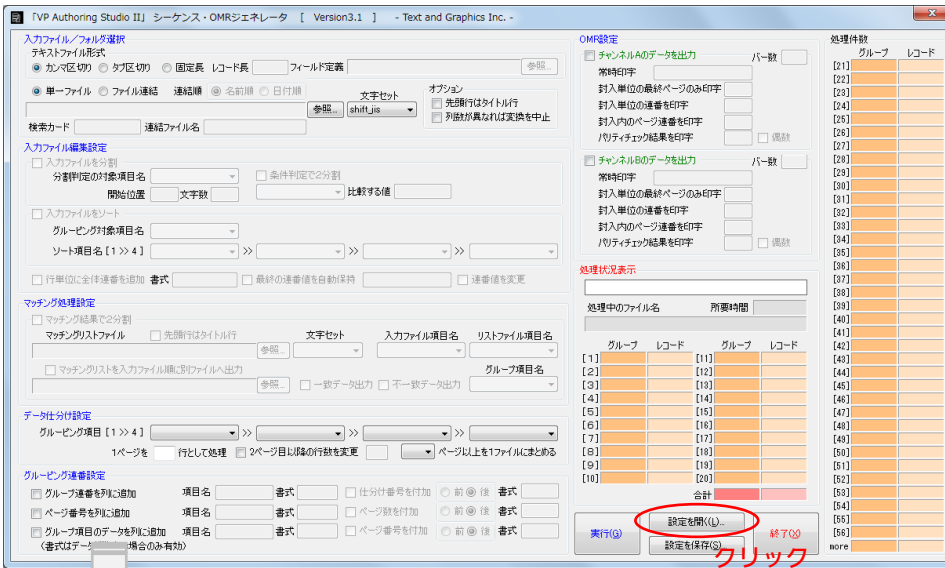
ファイル名を設定

クリック



保存完了後はメッセージが表示されます。

保存した設定ファイル(*.cfg)は「設定を開く(L)...」ボタンで開くことができます。



「先頭行はタイトル行」の設定がOFFで先頭行のデータが前回のデータと異なる場合にグルーピング項目などの選択項目が反映されない場合がありますのでタイトル行のないデータの場合、反映内容をご確認ください。